

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中山道鳥居峠美しいトレッキングコースづくり事業
事業主体 (連絡先)	中山道鳥居峠観光宣伝協議会 (木祖村観光協会 0264-36-2543)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり ⑤環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	500,356円 (うち支援金: 399,000円)

事業内容

塩尻市ならびに木祖村と両市村観光協会で構成される協議会では、関係者共通理解のもと、中山道鳥居峠の環境整備を進めてきたが、木々の成長により管理が不十分なことから、景観整備を実施。

また長野県が推進する「山岳高原観光振興」に向け、中山道鳥居峠の歴史ある文化遺産や観光資源を活用した積極的な誘客促進事業の展開。

- ・景観整備事業 鳥居峠両入り口にある「石畳」周辺の間伐等 2箇所0.1ha
- ・誘客促進事業 春と秋に中山道祭りとしてウォーキングイベント開催



【景観整備・下草刈り作業】

【目標・ねらい】

- ①積極的な誘客による観光振興
- ②美しいトレッキングコース保持
- ③交流事業連携

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①誘客イベントを開催したことで宿場関係者の鳥居峠を活用した誘客と地域活性化への意識強化、観光資源としての共通認識を高めることができた。
- ②石畳の遊歩道周辺が綺麗に整備され、観光客の安全も確保できた。
- ③両市村の共通財産である鳥居峠に関わる事業を連携して進めることで、行政間の枠を超えた関係者の交流や活性化につながった。

※自己評価【B】

【理由】

多くの来客、来場があり誘客が図られた。また石畳遊歩道周辺の景観整備により美しいコースを保つことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

積極的な誘客促進の継続、美しいトレッキングコースの景観整備を継続し、安全で自然と歴史が調和した観光資源、史跡として保全していきたい。次年度5月には景観整備した箇所への記念植樹も実施予定。両市村宿場関係者との連携を深めるとともに、木祖村が推進する「木曾川上下流交流事業」、塩尻市が中心となって推進している「街道交流事業」の交流事業連携による中山道DMOへ発展させたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある